

WTSA－16に関する状況

ITU 世界電気通信標準化総会の概要

世界電気通信標準化総会 (WTSA: World Telecommunication Standardization Assembly)

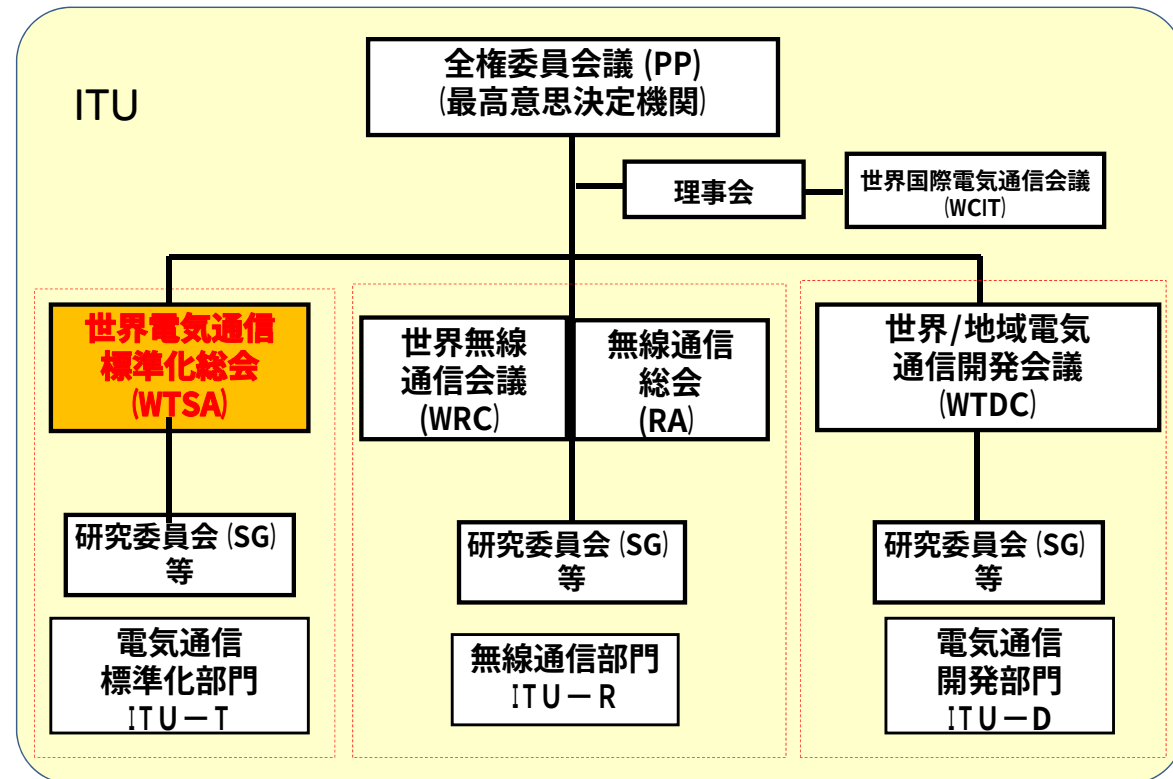
- ITUでネットワーク分野の標準化を行う電気通信標準化部門 (ITU-T) の総会であり、4年に1回開催。
- 前回総会 (WTSA-12) は2012年11月20日 (火) ～29日 (木) の10日間、ドバイ (アラブ首長国連邦) にて開催され、全体で約700名、日本から32名が参加
- 次回総会 (WTSA-16) は2016年10～12月に開催予定。

WTSA-16における主な議題

- 次会期における研究体制の決定 (SG構成の見直し)
- 各SG議長・副議長の任命
- 次会期の研究課題の承認
- 決議案の承認
- 研究委員会 (SG) から提出された勧告案の承認

WTSA-12の主な結果

- 次期研究会期の研究課題承認: 138件
- ITU-Tの検討体制の見直しなどを検討する「レビュー委員会」の設置に関する決議
- SDN (ソフトウェア定義ネットワーク) に関する決議
- 勧告承認: 6件 (新規5件、改訂1件)



TSAG (Telecommunication Standardization Advisory Group) は、ITU-Tにおける標準化活動の優先事項、計画、運営、財政及び戦略を検討する会合。次回WTSAまでの間、作業ガイドラインの維持管理、SG設置/議長等の任命などの権限も与えられている。

(レビュー委員会は、TSAGに定期的に報告するとともに、TSAGを通じて2016年のWTSA (WTSA-16) に報告をすることとなっている。)

直近の T S A G 会合の結果概要

【日 時】 2014年6月17日 (火) ～20日 (金) 【場 所】 ジュネーブ (スイス)

【参加者】 40ヶ国から122名が参加。

【新フォーカスグループ (FG) の設置】

- ・ビル&メリンダ・ゲイツ財団提案の「デジタル金融サービスFG」の設置に合意。途上国などのより多くの人々が銀行口座を簡便に持てるようにするモバイル決済サービスのための、セキュアな通信プロトコルなどを検討。12月4日～5日に初回会合をジュネーブで開催。
- ・マレーシア提案の「航空クラウドFG」の設置に合意。フライトデータのリアルタイムモニタリングを検討。(ICAOとIATAが検討するリアルタイムフライトトラッキングや、ITU-Rが検討する周波数利用や衛星利用とは区別。) 12月1日～3日に初回会合をクアラルンプールで開催。

【パテントポリシー関連議論】

- ・知的財産権アドホックグループ会合における、RAND※宣言をしている企業による差止請求の適否、RANDの明確化等に係るパテントポリシーガイドラインの検討状況について報告。権利譲渡に伴うRAND等の特許に関する宣言の引継ぎについて、ガイドラインの修正を行うことに合意したが、その他は知的財産権アドホックグループ会合にて継続審議を行う事を決定。

レビュー委員会 (RevCom) での審議状況

レビュー委員会は、ICTの継続的発展の促進や市場ニーズへの対応のため、**ITU-Tの構造や標準化の検討手法、他の標準化団体との連携・協力機能等を再検証し、2016年のWTSA※へ提案する改革案を議論**。2012年11月のWTSAにおいて、我が国からの提案で設置が決議された。2013年6月以降、現在までに4回実施され、活動期間は、2016年のWTSAまでの予定。議長は、TTC 前田専務理事。

※世界電気通信標準化総会 (World Telecommunication Standardization Assembly) : ITU-Tにおける標準化活動の方向性を決める最高意思決定会議で、4年に1回開催。

レビュー委員会の審議状況 以下のポイントを中心に5月末からのRevCom・TSAG会合で継続審議される。

1) ITU-Tの標準化戦略機能の強化

- ・ITU-Tによる市場動向・技術動向を捉えた戦略的分析の実施、それに基づくITU-Tの標準化戦略の策定機能の強化が必要であるとして、我が国から新組織 (Technical Standard Strategy Team) の設置を提案。TSAGが有する戦略策定機能の活性化を図るために、TSAGの下にグループを設置する方向で検討。

2) FG (フォーカスグループ) 成果文書の勧告化作業への迅速な移行実現

- ・FGの成果物の勧告化の迅速化を図るため、FG成果物の作成方法に関するガイドライン案を検討。

3) ITU-Tの組織構成の見直し

- ・各SGの標準化活動状況等を分析した上で、ITU-Tの価値向上、検討の効率化、財政改善に貢献する組織構成案の検討を加速することを確認。
- ・第4回会合に英国が「SG2とSG3の統合」「SG9とSG16の統合」「JCAやFG等その他グループの見直し」「地域グループの見直し」を提案。今後、継続審議することとなった。
- ・第4回会合に韓国が「分野横断的な課題に対応する新型SGの設置」を提案。次回、より具体的な提案が行われるが、IoT・ITS・次世代モバイル (5G) が候補となり得ることが確認された。

レビュー委員会・TSAG会合対処方針の検討状況

会合日程

- 第5回レビュー委員会 2015年5月29日～6月1日
- TSAG 2015年6月2日～6月5日

★場所:ジュネーブ(スイス)

レビュー委員会・TSAG会合の対処方針の検討状況

- 日本からの提出寄書に基づき、我が国の意見を反映できるように対処する。
- 分野横断的な課題に対応する新型SGの設置に関する議論※に対しては、既存の検討体制よりも有効であることの明確化が必要であり、慎重な議論が必要であるとの方向で対処方針を検討。
※前回会合では、IoT・ITS・次世代モバイル(5G)が候補となり得るとされた。このうち、次世代モバイル(5G)については、ITU-T SG13 4月会合でFG(FG IMT-2020)の設置に合意。
- IPRに関しては、前回TSAG会合以降開催されたIPRアドホック会合では、権利譲渡に伴うRAND等の特許に関する宣言の引継ぎを除き、主要論点について意見の一致が得られず、議論の大きな進展は見られない。

レビュー委員会への日本からの提出寄書

① ITU-T 標準化戦略機能の役割と検討中のToR(取決め事項)の修正提案

前回会合を受け、標準化戦略機能(Standardization Strategy Function)について、TSAG配下の新グループの詳細を提案。(想定されるメンバーや開催頻度、既存のグループとの関係等)

② ITU-Tの協調連携メカニズムの検証について

ITU-TのSG以外のグループ(FGやJCA等)について、現在の協調連携メカニズムを分析した結果、有効な手段であることが確認出来たことを示す。また、更に効果的に機能させるために、①で提案している標準化戦略機能による管理機能を追加することを提案。

③ SG活動モニタリングの継続と拡張について

第1回レビュー委員会で合意されたSGの活動状況のモニタリングについては、各SGの活動の活性化に有効であることが確認できたため、モニタリングの継続とモニタ項目の追加(ラポータ会合の参加者数・寄書数、勧告文書ダウンロード数)を提案。

APT※ WTSA準備会合

※ APT:Asia-Pacific Telecommunity アジア・太平洋電気通信共同体

APT WTSA準備会合

世界電気通信標準化総会 (WTSA) へ向けては、地域ごとに準備会合を開催することになっており、アジア・太平洋地域は、APTにおいて、共同提案策定やSG議長等立候補の地域内での調整について、WTSAの1年半程度前から議論を開始する。

WTSA-16へ向けては、本年3月に第1回WTSA準備会合を開催。(前回のWTSA-12ではAPT準備会合を4回開催し、14件のAPT共同提案を提出。)

第1回 APT WTSA16 準備会合の結果

第1回APT WTSA16準備会合は、本年3月に開催され、ITUからリー電気通信標準化局長が参加。

【日 時】 2015年3月7日 (土) 【場 所】 バンコク (タイ王国)

【参加者】 アジア・太平洋地域のAPTメンバーのうち、25か国及び9企業・団体から約60名が参加。

我が国は総務省、NICT、TTC、NEC、NTTから計12名が参加。

【主な結果】 組織構成と作業方法に合意し、役職者の選出を実施。我が国からは、議長に前田氏 (TTC)、WG1議長に鈕吉氏 (NEC)、WG2副議長に荒木氏(NTT)、WG3副議長に深堀氏(NICT)を選出。

WTSA-16 APT準備会合

議長 : 前田洋一 (TTC)
副議長 : XU Weiling (中国)
副議長 : Hyong Jun Kim (韓国)

ワーキンググループ	検討事項	議長	副議長
WG1	ITU-Tの作業方法	鈕吉薫 (NEC)	インドネシア
WG2	標準化の研究課題、SGの検討体制	Seungyun Lee (韓国)	荒木則幸 (NTT) マレーシア
WG3	規制、政策、BSG、標準化シンポジウム、その他	Si Xianxiu (中国)	深堀道子(NICT) イラン、ベトナム

(今後のスケジュール) 第2回APT WTSA16準備会合は、本年10/15～17に開催予定。

參考資料

電気通信標準化部門における今期研究会期(2013 - 2016)の研究体制

全権委員会議PP

最高意思決定機関

(4年毎に開催)

電気通信標準化部門(ITU-T)

世界電気通信標準化総会 WTSA

研究課題設定、勧告の承認

(4年毎に開催)

研究委員会:SG

SG2

サービス提供の運用側面及び電気通信管理

議長 ギニナ (エジプト) ※議長退任に伴い、新議長選出中
サービス規定・定義、ナンバーリング、アドレッシング、ルーティング関連

SG3

料金と会計原則

議長 津川 清一 (KDDI)

計算料金制度改革、清算原則関連

SG5

環境と気候変動

議長 ゼッダム (仏)

網及び装置保護、電磁環境の影響に対する防護、ICTと気候変動関連

SG9

映像・音声及び統合型広帯域ケーブル網

議長 ウェブスター (米) 副議長 宮地悟史 (KDDI)

統合型広帯域ケーブルネットワーク及び映像・音声伝送

SG11

信号要求、プロトコル及び試験仕様

議長 フェン (中) 副議長 鋤吉薫 (NEC)

IP網、NGN等の信号及びプロトコル並びにNGN等の試験仕様関連

SG12

性能、サービス品質(QoS)及びユーザー体感品質(QoE)

議長 アシャムファ (ガーナ) 副議長 高橋玲 (NTT)

全ての端末、ネットワーク及びサービスのQoS及びQoE関連

SG13

移動及びNGNを含む将来網

議長 レーマン (スイス) 副議長 後藤良則 (NTT)

移動及びNGNを含む将来網の要求条件、アーキテクチャ、評価、融合関連

SG15

光伝送網及びアクセス網基盤

議長 トルウーブリッジ (米) 副議長 荒木則幸 (NTT)

伝送網及びアクセス網基盤、システム、装置、光ファイバー及びケーブル関連

SG16

マルチメディア符号化、システム及びアプリケーション

議長 内藤 悠史 (三菱電機)

NGN等を含む既存・将来網のサービスのためのユビキタスアプリケーション及びマルチメディア関連

SG17

セキュリティ

議長 クレマー (露) 副議長 中尾康二 (KDDI)

サイバーセキュリティ、スパム対策及びID管理等

レビュー委員会

RevCom

議長 前田 洋一 ((一社)情報通信技術委員会)

ITU-Tの検討体制の見直しを検討

TSAG

電気通信標準化アドバイザリグループ

議長 グレーシー (加)

ITU-Tの活動の作業方法、優先事項、計画

ITU-T SG等における日本からの役職者等一覧(2015年5月現在)

SG	日本からのSG議長／副議長		日本からのWP議長/副議長		日本からのラポータ(R)／アソシエイトラポータ(AR)			
RevCom	議 長	前田 洋一(TTC)	— —		— —			
SG 2 サービス提供の運用側面及び電気通信番号管理	— —		— —		— —			
SG 3 料金・会計原則	議 長	津川清一(KDDI)	(RG-AO副議長 松田康典(KDDI))		Q.2	R	本堂 恵利子(KDDI)	
SG 5 環境と気候変動	— —		WP2 議 長 服部光男(NTT) (RG-AP副議長 端谷隆文(富士通))		Q.8	R	小林隆一(NTT)	Q.18 AR 端谷隆文(富士通)
					Q.10	R	富永哲欣(NTT)	Q.19 AR 近藤芳展(NTT)
					Q.10	AR	奥川雄一郎(NTT)	
SG 9 映像・音声伝送及び統合型広帯域ケーブル網	副議長	宮地悟史(KDDI)	WP1 議 長 宮地悟史(KDDI)		Q.1	R	酒澤茂之(KDDI)	Q.10 R 高橋知彦(KDDI)
					Q.4	R	武智秀(NHK)	Q.11 R 酒澤茂之(KDDI)
					Q.6	R	宮地悟史(KDDI)	Q.13 R 宮地悟史(KDDI)
SG 11 信号要件・プロトコル及び試験仕様	副議長	鈕吉薫(NEC)	WP2 共同議長 鈕吉薫(NEC)		Q.2	AR	姫野秀雄(NEC)	Q.14 R 姫野秀雄(NEC)
					Q.4	R	Matthew Lopez(NEC)	
SG 12 性能、サービス品質及びユーザ体感品質	副議長	高橋玲(NTT)	WP3 副議長 高橋玲(NTT)		Q.13	R	高橋玲(NTT)	
SG 13 移動及びNGNを含む将来網	副議長	後藤良則(NTT)	WP1 共同議長 後藤良則(NTT)		Q.2	R	Marco Carugi(NEC)	Q.15 R Ved P. Kafle(NICT)
					Q.14	R	江川尚志(NEC)	
SG 15 光伝送網及びアクセス網基盤	副議長	荒木則幸(NTT)			Q.1	AR	横谷哲也(三菱電機)	Q.5 R 中島和秀(NTT)
					Q.2	AR	可児淳一(NTT)	Q.8 R 白木和之(NTT)
					Q.3	R	森田直孝(NTT)	Q.17 R 戸毛邦弘(NTT)
SG 16 マルチメディア符号化、システム及びアプリケーション	議 長	内藤悠史(三菱電機)	WP2 副議長 川森雅仁(慶應大)		Q.13	AR	松原雅美(三菱電機)	Q.26 R 川森雅仁(慶應大)
					Q.14	R	谷川和法(NEC)	Q.28 R 川森雅仁(慶應大)
SG 17 セキュリティ	副議長	中尾康二(KDDI)	WP1 議 長 中尾康二(KDDI)		Q.3	R	永沼美保(NEC)	Q.6 AR 三宅優(KDDI)
					Q.4	R	門林雄基(NICT)	Q.10 AR 武智洋(NEC)
TSAG	— —		— —		— —			
合計	議 長	3	議長	6	ラポータ(R)			24
	副議長	6	副議長	2	アソシエートラポータ(AR)			10

(参考資料) FG、JCA、GSIについて

FG

Focus Group

- 勧告策定に向けた基礎調査、情報収集 (勧告は各SGで策定する)
- ITUメンバー以外でも参加可能
- 1~2年で報告書を取りまとめる時限的組織

JCA

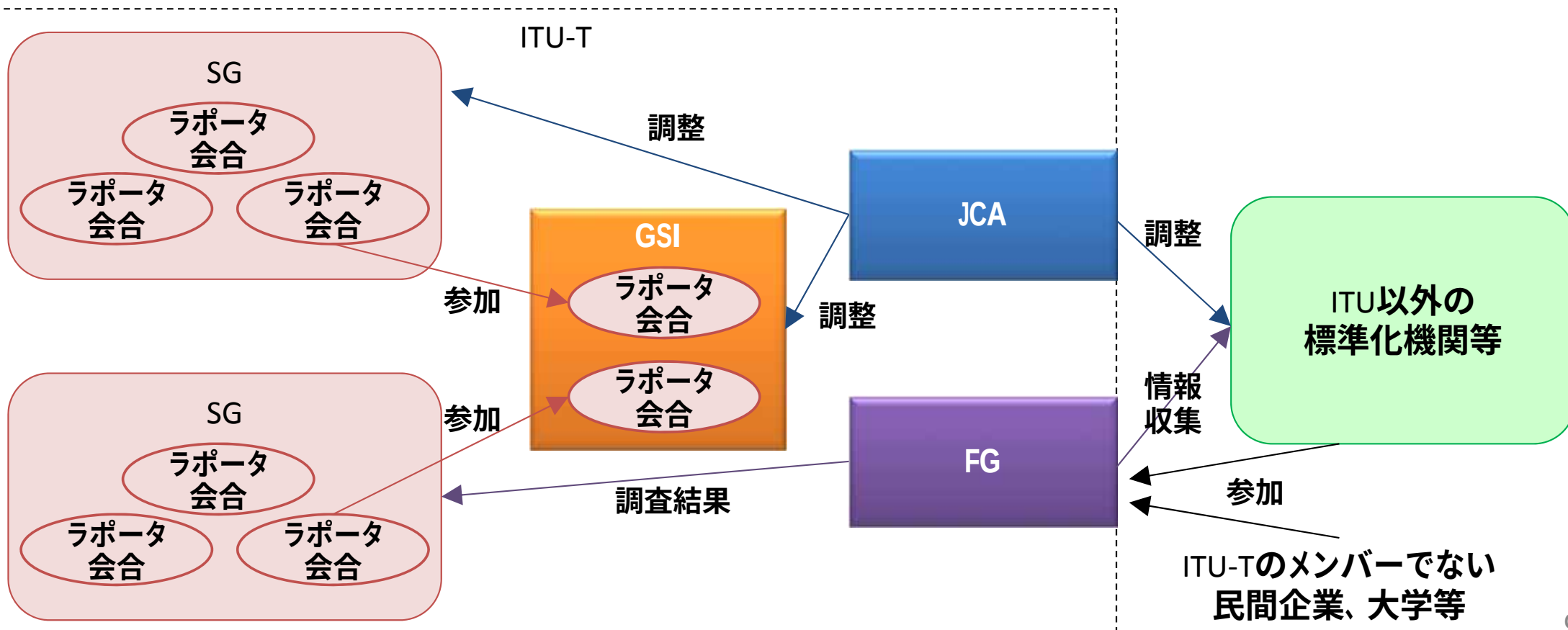
Joint Coordination Activity

- ITU内や他の標準化機関等との調整 (勧告は各SGで策定する)
- 関連SGや標準化機関等の代表者で構成

GSI

Global Standards Initiative

- JCAが設立し、複数のSG会合やラポータ会合が集まるイベントの総称
- 勧告を策定する



(参考資料) 現在活動中のFG

FG

FG AC(FG on Aviation Applications of Cloud Computing for Flight Data Monitoring)	
議長: Norizan Baharin (マレーシア)	マレーシア航空機事故を受けた、飛行データのリアルタイムモニタリングのための航空向けクラウドの通信標準に対する要求条件の特定等を目的とする。 [設立: 2014年6月 親組織: TSAG]
FG DFS (FG on Digital Financial Services)	
議長: Sacha Polverini (米国)	途上国向けのデジタル金融サービス(携帯電話によるモバイル決済サービス、マイクロファイナンス等)のためのセキュアな通信プロトコル等を検討することを目的とする。 [設立: 2014年6月 親組織: TSAG]
FG SWM (FG on Smart Water Management)	
議長: Silvia Guzman Arana (スペイン)	ICTによる水の管理に関するベストプラクティスの収集、ICTの貢献度と可能性、水の管理にICTを導入することの影響を評価するための主要評価指標(KPI)等を検討することを目的とする。 [設立: 2013年6月 親組織: SG5 2015年5月活動終了]
FG SSC(FG on Smart Sustainable Cities)	
議長: Ramy Ahmed Fathy (エジプト)	環境的かつ持続可能な都市の開発に必要なICTシステムを特定するために、コンセプト、対象範囲、ビジョン、ユースケース等を検討するとともに、都市の環境持続可能性への影響を評価するための主要評価指標(KPI)の開発等について検討することを目的とする。 [設立: 2013年2月 親組織: SG5 2015年5月活動終了]
FG Innovation (Focus Group on Bridging the Gap: from Innovation to Standards)	
議長: Ajay Ranjan Mishra (インド)	ICTイノベーションに関する成功事例の分析から、将来の研究課題につながるような標準化ギャップを検討することを目的とする。 [設立: 2012年1月 親組織: TSAG]

(参考資料) 現在活動中のJCA

JCA

JCA-SDN (Joint Coordination Activity on Software-Defined Networking)	
議長: 江川 尚志 (NEC)	■ SDNに関するITU内及び他標準化機関との調整を行う。 ■ 設立時に、中国からはFG設立提案があったが、既存のSGの活動と重複するとして反対され、SG13から提案のあったJCAが設立された。
JCA-Res178(Joint Coordination Activity on technical aspects of telecommunication networks to support the Internet)	
共同議長: Sherif GUINENA (エジプト)、Philip RUSHTON (英国)	■ PP-10を受ける形で、2012年のWTSA-12で発足。 ■ PP-10 決議178のインターネットを用いたテレコミュニケーションネットワークの技術的側面に関するITUの役割に関してITU内の調整を行う。
JCA-COP (Joint Coordination Activity on Child Online Protection)	
共同議長: Ashley Heineman (米国)、Philip RUSHTON (英国)	■ 青少年のオンライン環境における悪影響からの保護に関するITU内及び他標準化機関との調整を行う。
JCA-Cloud (Joint Coordination Activity for Cloud Computing)	
議長: Monique Morrow (米国)	■ 2011年12月に終了したFG Cloudを引き継ぐ形で発足。 ■ クラウドコンピューティングに関するITU内及び他標準化機関との調整を行う。
JCA-IPTV (Joint Coordination Activity on IPTV)	
議長: 内藤 悠史 (三菱電機)	■ FG IPTVのITU内外との調整窓口として設置。FG IPTV終了後もITU内及び他標準化機関との調整を通じてIPTV-GSIの活動を支援している。
JCA-CIT (Joint Coordination Activity on Conformance and Interoperability Testing)	
議長: Ostap Monkewich (カナダ)	■ 適合性、相互接続性試験に関する情報収集や要求条件等のITU内及び他標準化機関との調整を行う。
JCA-AHF (Joint Coordination Activity on Accessibility and Human Factors)	
議長: Andrea Saks (米国)	■ 障がい者のICTへのアクセシビリティに関する利用者ニーズの勧告への反映、ユニバーサルデザインに関するITU内及び他標準化機関との調整を行う。

(参考資料) 現在活動中のJCA、GSI

JCA (続き)

JCA-IdM (Joint Coordination Activity for Identity Management)	
共同議長: Richard Brackney (米国)、 Jon Shamah (英国)	■ 識別情報の安全な取扱い (生成、修正、廃棄、保管等) に関するITU内及び他標準化機関との調整を行う。
JCA-ICT&CC (Joint Coordination Activity on ICT and climate change)	
共同議長: Ahmed Zeddam (フランス)、 Dave Faulkner(英国)	■ ICTが気候変動に及ぼす影響、他分野が気候変動に及ぼす影響のICTによる緩和、ICTを活用した気候変動の監視の観点でITU内の調整及び他標準化機関との調整を行う。
JCA-IoT (Joint Coordination Activity on Internet of Things)	
議長: Hyoung Jun Kim (韓国)	■ 2006年7月に設置されたJCA-NIDを名称変更して設立。 ■ Internet of Things (IoT)に関するITU内及び他標準化機関との調整を行う。

GSI

IoT-GSI (Internet of Things Global Standards Initiative)	
コーディネーター: Heyuan Xu (中国)	■ Internet of Things (IoT) の進展に必要な技術基準の策定を目的とする。
IPTV-GSI (IPTV Global Standards Initiative)	
コーディネーター: 川森雅仁 (慶応大学)	■ 2007年12月に終了したFG IPTVの活動成果を引き継ぎ設置。 ■ IPTVに関する勧告案の作成等を目的とする。